

2007 2008
Gifu North R.C.



岐阜北週報

WEEKLY REPORT

1233

例会 毎週水曜日 題字 山口 八郎
会場 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光桃林 2695
tel 295-5222(代)
事務所 岐阜商工会議所(岐阜市神田町2) tel 264-9235(代)

会長 山口 八郎
副会長 小椋 功
幹事 国井 省二
会報記念誌委員長 原尾 勝

<http://gifukita-rc.com>



平成 19 年 11 月 21 日 発行

11 月 ロータリー財団 月間

- 本日のプログラム -

第 1234 回例会 11 月 21 日 (水)

- ◎ クラブアッセンブリー (5)
- ◎ 地区大会報告
100 万 \$
担当: 会長・幹事

- 前週のプログラム -

第 1233 回 例会 11 月 14 日 (水)

- ◎ クラブフォーラム (6)
担当: R 財団委員会

- 点 鐘
- ロータリーソング「我等の生業」

委員会、同好会報告

親睦交流委員会 <<波多野 光裕 委員長>>

12月8日(土)のクリスマス家族例会につきまして、申込書をBOX内にいれておきましたが来週が締切りです、提出の程お願いします。

◇ <<服部 洋一郎 会計>>

11月17日・18日の地区大会登録料振込納入用紙をBOXにいれておきました。早めに振込をお願いいたします。

◇ 幹事報告 <<国井 省二 幹事>>

本日定例理事会を行います、理事・役員の方はよろしくをお願いいたします。

◇ ニコニコボックス<<波多野 親睦交流委員長>>

* 青木平七郎様(地区ロータリー財団)・・・「ロータリー財団に年次寄付、恒久基金に皆様のご協力で宜しくお願いします。」

* 北川忠雄君・・・R財団フォーラムで青木地区委員長をお招きしました。

* 安藤武司君・・・若松学園の学園祭に行きまして、大変にぎやかに催されていまして。

* 森本時夫君・・・今日も元気で。

ビジター紹介 <<笠井 親睦交流委員>>

・青木 平七郎 様(地区ロータリー財団委員長/
羽島 R.C.)

会長挨拶 <<山口 八郎 会長>>

世界の金融市場を混乱させた米住宅ローン問題について。サブプライム住宅ローンが米国の住宅市場の冷え込みで返済が滞る人が増加した結果によるものである。このことはサブプライムを含む債権が証券化されて、様々な金融商品に組み込まれ、世界中の機関投資家に売られていたが米国の住宅市場が冷え込み、全世界中に散らばっている金融商品の損失の全体像がなかなかつかめなく、市場が疑心暗鬼となり世界の同時株安が発生し日米英の金融機関などに大きな損失を与えたものである。米ドルが売られ、円高株安となっており回復見込みは、なかなかむづかしい状況にある。

出席報告 <<出席委員会>>

本日のホームクラブ	28 / 32	87.50%
-----------	---------	--------

◇ 本日のホームクラブ欠席者4名

岡田忍君・河村訓陸君・谷田育子さん・塚原進君



例会行事

◇ クラブフォーラム（6）

《北川 忠雄 ロータリー財団委員長》

1. 地区開催の 財団研修セミナーの結果より
 - イ R財団の目標 ロータリーが誇りと思う財団活動をよびおこす事業展開を。
 - ロ R財団の基本方針 使命は人道的教育的文化交流などのプログラムを通じて世界平和を達成せんとする国際ロータリーの努力を支援する。
 - ハ R財団プログラム 教育的プログラムとして、国際親善奨学生、世界平和フェロシップ、人道的プログラムとして、地区補助金、マッチンググラント、3h補助金、ポリオプラス。
 - ニ 当地区における主な寄付 年次プログラム基金、ポウルハリスフェロー、恒久基金、ベネファクター、用途指定寄付、ポリオプラス、マッチンググラント、ロータリークレジット、その他
 - ホ 年次寄付の配分 地区財団活動資金・国際財団活動資金50%と運用益。
 - ヘ 年次寄付促進の方策（アンケート） 講師の卓話とフォーラムの機会を最大活用、用途とその必要性を充分周知、100万ドルでR財団会計を設け積立、財団BOXを設けて特定日に会員に拠出を要請、その他。
 - ト 意見要望R Iの集団組織の管理及び仕組みの問題点、マッチンググラントの巨額の不明金ならびにR I役員指名における不正な選挙活動など考慮し日本ロータリー独自の組織の構築に取り組むべき。マッチンググラントの問題でその説明がまだない、地区で情報を得て開示されたい。R I財団のもと日本独自の財団設立を考えるべき、寄付した資金が真に有効に使われているか、その経緯を聞きたい。
- 2 講師派遣の申し入れと講師の紹介
 - ・申し入れ 19年9月25日
 - ・要請する卓話の内容/R財団存在の意義と寄付目的・財団寄付金のR Iにおける運用
 - ・講師 青木地区財団委員長



《青木 平七郎 地区ロータリー財団委員長》

平素は、ロータリー財団にご支援、ご協力を頂いており厚く御礼申し上げます。今月は財団月間です、ついでには皆様方にご理解頂きたく、財団の素晴らしい活動を知っていただき、浄財をお願いいたします。

「ロータリー財団の生い立ち」

1917年当時の会長アーチ・クランプが米国ジョージア州アトランタの国際大会で「ロータリーが基金を作り、世界的な規模で何か良いことをしよう」と呼び掛けました。この基金に賛同し米貨26ドル50セントを最初に寄付したのがミズリー州カンザス・シティRCでした。

そして1928年のミネアポリス国際大会でこの基金をロータリー財団と改称された。当時管理委員であったアーチ・クランプは「我々はこの財団を今日明日に時点ではなく、何年、何世代の尺度で見ると、なぜならロータリーは幾世紀にもわたる運動だから」と言っています。また「ロータリー財団は、レンガや石の記念碑を建てるものではない、たとえ大理石の碑銘を刻んだとしても、やがて崩れてしまう、だが心の中にロータリー精神を刻むなら永久に輝き続け、文明の続く限りロータリーは不滅のものとなる」とも書き遺しています、後10年で財団が生まれて100周年を迎えます。

世界に誇れる財団だからです。

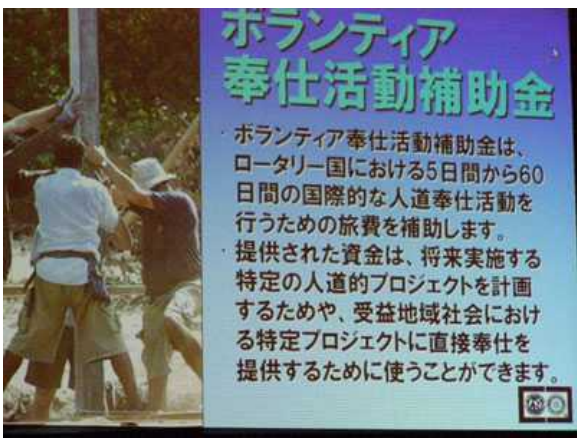
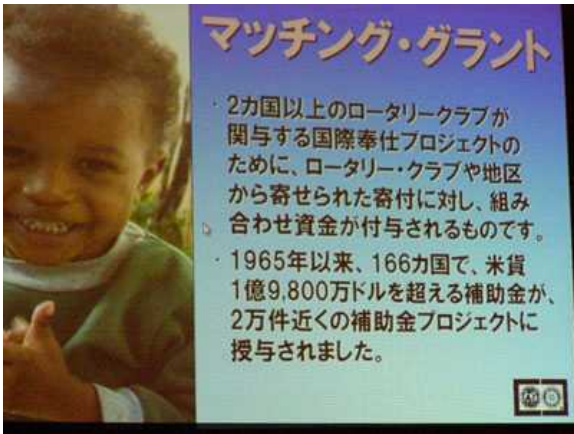
1947年1月27日にロータリーの創立者ポール・ハリスがシカゴの自宅で亡くなりました、世界70ヶ国以上30万人以上のロータリアンが創始者の死を悼みました。逝去で寄付が国際ロータリーに相次いで寄せられました、財団はポール・ハリス記念基金を設け翌年7月までに米貨130万ドル以上集まりました。それによって最初の財団プログラムが実現されました。高等研究奨学生とって、米国・英国・フランス・メキシコ・中国の18人の若い人たちが選ばれ、他国でそれぞれの専門分野を勉強しました。これが最初の国際親善奨学生です。

1951年6月3日に、アーチ・クランプが亡くなりました。自分の描いた夢が実現され始めるのを目の当たりにすることができました。1951年までに、彼が当初考えていた国際奉仕に貢献する財団として発展していったのです。財団の発展には、第2次世界大戦の終結で、世界の人々が手をつなぐことができた。第2に、ポール・ハリス記念基金の創設を通じて財団は安定的な財源を確保することができた。第3に、奨学金プログラムによって、ロータリーの目標と理想をかなえ、ロータリアンの心をとらえるプログラムを発見したことが財団の活性化に繋がり、今日ロータリー財団として世界的に名声を吐くし確固たる地位を築くことができたのは、一つには財政基盤が堅固になったことです。

2005-2006年度の寄付収入額は実に135

億円という巨額に上がっています。一方各種プログラムへの支出はマッチング・グランに40億円、ポリオプラスに30億円、国際親善奨学金に18億円、地区補助金に6億円、GSEには5億円など合計で110億円のプロジェクトが実現されています。また財団の持つ純資産額は850億円となりました。財団は、人道的活動、教育的活動を通じ、世界中の貧困や飢餓が減少し、社会が向上し、世界が平和になる支えです。

私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化していく為には奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要です。皆様のご支援をお願いいたします。



《社会奉仕委員会》

11月5日(月) 三谷学園散髪奉仕

・サムソンさんの協力のもとに実施されました



11月10日(土) 若松学園祭が盛大に行われました。



➤ 閉会の辞 <<小椋 副会長>>

➤ 点 鐘

次回例会のご案内 11月28日(水)

・卓 話

担当：岡田(一)会員・山口会員

担当/クラブ会報委員会 安藤 武司